

基本目標
1

エネルギーを賢く使う ゼロカーボンシティあんなか

本編
p55

【環境づくりの方向】

カーボンニュートラルの実現と気候変動リスクの回避・軽減（適応策）を進めます。
“デコ活”など脱炭素の新たな暮らしや活動が進み、安全・安心で環境にやさしいまち（脱炭素社会）の実現を目指します。

【市の取組（基本施策の展開）】

1-1 省エネ・再エネ活用、脱炭素型まちづくり

- 省エネ対策・再エネ活用の推進
- コンパクトで環境にやさしいまちづくりの推進
- 温室効果ガス吸収源対策の推進

1-2 気候変動への適応

- 自立分散型の再生可能エネルギーシステムの構築
- 気候変動適応策の普及と推進

基本目標
2

資源を大切にし、循環利用される ごみゼロのまち あんなか

本編
p63

【環境づくりの方向】

3Rや食品ロス削減の推進と再生可能資源の活用など、循環経済への移行を進めます。

“MOTTAINAI”の心が育まれ、廃棄物の減量と資源化が進み、環境にも家計にもやさしいまち（循環共生社会）の実現を目指します。

【市の取組（基本施策の展開）】

2-1 3R+Renewableによる資源循環型社会の構築

- 3R+Renewableの普及促進
- 分別の徹底・資源回収と適正なごみ処理の推進

2-2 プラスチック資源循環や食品ロス削減の推進

- プラスチック資源循環利用の推進
- 食品ロス削減の推進



市民・事業者の皆さんにできること

本編 p84～, p90～

- 省エネの実践
- エネルギーの効率的利用
- 公共交通の利用
- 熱中症等の予防
- 太陽光など再エネの導入
- 電動車の活用 エコドライブの実践
- 再エネ電力の使用
- 吸収源としての緑の育成
- 自然災害への備え



市民・事業者の皆さんにできること

本編 p85～, p92

- 資源リサイクルへの協力
- 詰替え商品や環境にやさしい商品の選択
- 生ごみの減量
- ものを大切に使う
- 食品ロスの削減
- リチウムイオン電池のリサイクルの徹底
- 3Rの実践
- 剪定枝・雑草の自家処理や乾燥させてからのごみ出し
- 地元の食材などの活用
- ごみ出しルールの遵守

豊かな自然の恵みを守り育み、資源として活かすまち

【環境づくりの方向】

里山地域としての健全な生態系（生物多様性）の保全と再生、恵み（自然機能）の活用、ふれあいが楽しめる環境づくりを進め、自然再興を図ります。

地域の自然や共生の知恵・文化に学び、豊かな恵みを楽しみながら、育て活かしている持続可能な自然共生社会を目指します。

【市の取組（基本施策の展開）】

- 3-1 恵み豊かな自然環境・生物多様性の保全・活用
- 生物多様性・健全な生態系の保全
 - 生態系サービスの保全・活用、自然再興の取組促進
- 3-2 環境保全機能の回復向上と快適な生活環境の確保
- 良好な水環境や快適な生活環境の確保
 - 環境汚染リスクからの安全・安心、健康の確保
- 3-3 自然や生きものとのふれあいが楽しめる環境づくり
- 自然・歴史文化との共生を楽しむ環境整備
 - 鳥獣被害対策や動物愛護の推進

みんなで創る 里山の環境文化

【環境づくりの方向】

地域の環境や課題について、体験や活動を通じて、楽しみながら学ぶことができる機会を充実します。市民、事業者、行政が一体となり、共に考え、協働することで、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを進めていきます。

さまざまな人々との絆が広がり、持続可能なまちづくりに向け、共に良好な環境づくりが進められている社会の実現と一人ひとりのウェルビーイングの形成を目指します。

【市の取組（基本施策の展開）】

- 4-1 環境について学び、行動する社会の形成
- 環境意識の普及啓発、環境情報の提供と共有
 - 環境教育・環境学習の充実と支援
- 4-2 みんなで創る環境にやさしいまちづくりの推進
- 協働による環境保全の推進
 - あんなか市民の環(環境交流)の推進



市民・事業者の皆さんにできること

本編 p87～, p93～



○ 自然・生きものの保護



○ 住まい周辺の緑の活用



○ 地元木材の活用



○ 里山や森林の整備協力



○ 里山の自然を楽しみ、学ぶ



○ 地域の環境美化活動



○ 緑の育成・維持管理

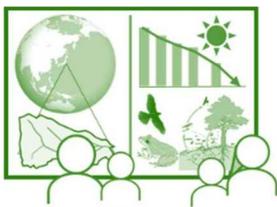


○ 農薬や化学肥料の適正使用



市民・事業者の皆さんにできること

本編 p89, p95



○ 環境学習、環境情報の活用



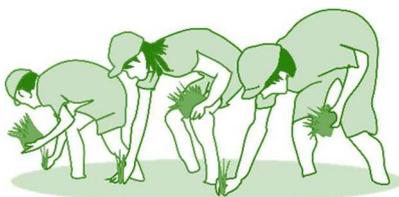
○ 環境の交流の環(わ)の拡大
○ あんなか市民の環(わ)への参加



○ 地域の人々や民間団体などとの交流



○ 里山再生・活用への協力



○ 体験学習、活動への参加



○ 環境問題やSDGsについての学習

安中市環境基本計画 2026 の位置づけと期間

本編 p14~15

計画の位置づけ



計画の期間



指標

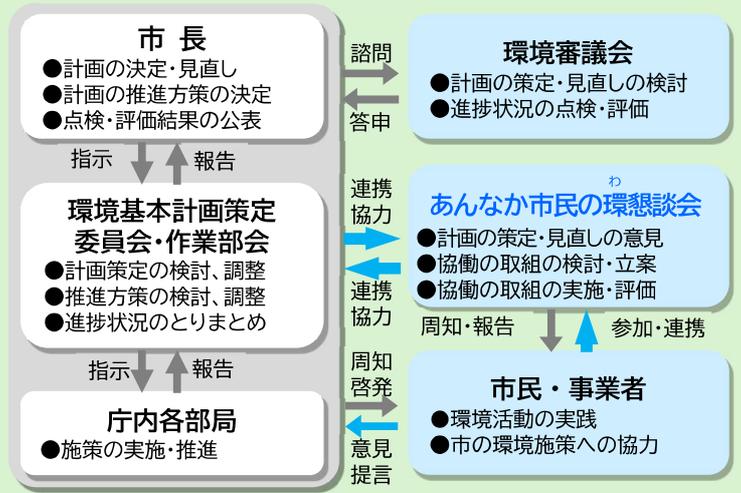
基本目標	指標	単位	現状年度 2024 年度	中間年度 2030 年度	目標年度 2035 年度	
基本目標1 エネルギーを賢く使う ゼロカーボンシティ あんなか 本編 p56	温室効果ガス排出量 *2013 年度排出量; 499 千t-CO ₂	千t-CO ₂	436 2022年度	279 2013 年度比 50%減*	215 2013 年度比 63%減*	2050 年度 実質ゼロ
	住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金交付件数	件	82	100	115	
	庁用自動車のうち電気自動車導入数	台	1	5	10	
	市有電気自動車充電設備設置数	基	1	3	5	
	市有電気自動車充電設備利用数	台	600 2025 年度	1,800	3,000	

※「2050 年カーボンニュートラル」へ向けて、森林による CO₂ 吸収量を 6% 加味しています。

基本目標	指標	単位	現状年度 2024 年度	中間年度 2030 年度	目標年度 2035 年度	
基本目標2 資源を大切に し、循環利用 される ごみゼロのま ち あんなか 本編 p64	市民1人1日あたりのごみ排出量	g/人・日	941	900	831	
	資源化率	%	9.58	17.5	22.4	
	不法投棄件数	件	63	30	0	
	環境美化団体数	団体	9	15	20	
	食品ロス削減推進店舗数 ※2026 年度より開始予定	店舗	—	15	30	

本計画を着実に推進していくためには、市民・事業者・行政の三者が、それぞれの役割と責務に応じて、主体的に環境配慮行動を実践していくことが重要です。安心・安全、健康でより快適に暮らしやすい環境をつくるためには、環境パートナーシップのもとに協働し、まちづくりを進めていくことが大切です。

推進体制



指標

基本目標	指標	単位	現状年度 2024年度	中間年度 2030年度	目標年度 2035年度	
基本目標3 豊かな自然の恵みを守り育み、資源として活かすまち	都市計画区域 1人あたりの都市公園面積	m ²	8.68 2022年度	10 2027年度	...	
	汚水処理人口普及率	%	66.85	77.30	88.13	
	遊休農地の割合	%	0.65 2022年度	0.325 2025年度	0 2032年度	
	狂犬病予防注射接種率	%	78.73	89.4	100	
	ペット同伴可能店舗数	店舗	8	12	16	
	ペットツーリズム協力店舗数	店舗	3	5	10	
本編 p70	犬・猫殺処分頭数	頭	8	4	0	

基本目標	指標	単位	現状年度 2024年度	中間年度 2030年度	目標年度 2035年度	
基本目標4 みんなで創る里山の環境文化	環境に関する出前講座等受講者数	人	107	200	300	
	クリーンセンター見学者数	人	357	400	500	
	熱帯植物園来園者数	人	4,732	5,000	5,300	
	本編 p78	あんなか市民の環(わ)団体数	団体	14	20	30



「ゼロカーボンシティあんなか」宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる台風や大雨、地震等の気候変動の影響により、世界規模で多くの自然災害が発生しております。

こうした気候変動は、私たちの暮らしがおびやかされるだけでなく、自然環境や生態系にも極めて深刻な影響を及ぼしており、私たちにとって避けては通れない喫緊の課題です。

2015年に合意されたパリ協定では『産業革命からの平均気温上昇を 2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する』との目標が国際的に広く共有されました。さらに 2018 年の IPCC 総会での『1.5℃特別報告書』では、『気温上昇を 1.5℃に抑えるためには、CO2 排出量を 2050 年までに実質ゼロにすることが必要』とされています。

本市は、豊かな自然と歴史文化、風土、観光資源、さらには良質な温泉など、豊富な環境資源を多数有しています。

『里山の恵みと歴史を活かし 環境文化を育むまち あんなか』を掲げ、この恵まれた自然環境を守り、次世代に引き継ぐため、国際社会の一員として、2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする『ゼロカーボンシティあんなか』の実現を、市民の皆様や市内事業者の皆様と一丸となって挑戦することを宣言します。

令和 5 年 6 月 11 日

安中市長

安中市議会議長

安中市商工会長

安中市松井田商工会長

右井均
墨次雄
高橋正章



『あんなか5つのゼロ宣言プラスわん』

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

本市の地域強靱化とともに、市民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにします。

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

豊富な水資源・森林資源など本市の恵まれた再生可能エネルギー資源を最大限に活用して、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにします。

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

エネルギーの自立・分散化(地産地消)により、災害時にも電力供給を継続し、さらに、地域外への富(電気代)の流出をなくし、地域内での資金の循環を目指します。

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

環境中に排出されるプラスチックごみをなくしていきます。

宣言5 食品ロス「ゼロ」

「MOTTAINAI」(もったいない)の心で食品ロスをなくしていきます。

宣言6 犬・猫殺処分「ゼロ」(本市独自のプラスわん)

「ペットにやさしいまちは人にもやさしい」を motto に、人と動物が安心して共生できる豊かな社会、ペットと共生・共存できるまちづくりを目指します。

令和5年6月11日

安中市長

右井均

市では、持続可能な社会に向けた取組を市民・事業者・市が一体となって進めていくために、安中市・安中市議会・安中市商工会・安中市松井田商工会の四者で「ゼロカーボンシティあんなか」を宣言し、同時に「あんなか 5 つのゼロ宣言プラスわん」を表明しました。